

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MBP9590

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種: MAZDA3 2.0G (5BA-BPFP)

※製品ご装着前に必ず弊社ウェブサイトにて適合車種、グレード（最新情報）をご確認ください。



警告

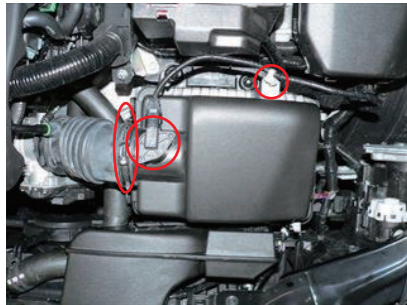
- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、または当該経験者の監督下で作業が可能なる方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、カーボンケースとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、カーボンケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST

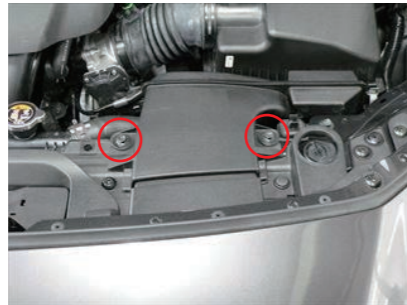


装着手順

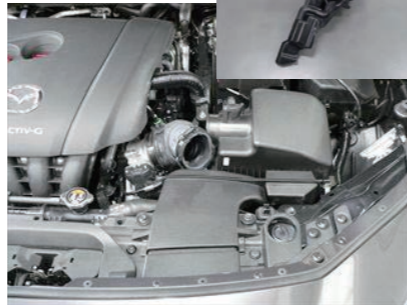
注) ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗布して取付けてください。



1. エアフローセンサーコネクタとエアフローセンサーの配線留めを外します。エアホースクランプを緩めます



2. フレッシュエアダクトを固定しているボルトを取外します。



3. フレッシュエアダクトとエアークリーナーボックスを一体で取外します。



4. フレッシュエアダクトを固定しているクリップを2箇所外します。爪をおこし回転させてフレッシュエアガイドを取外します。



5. フレッシュエアダクトからレゾネーターを取外します。



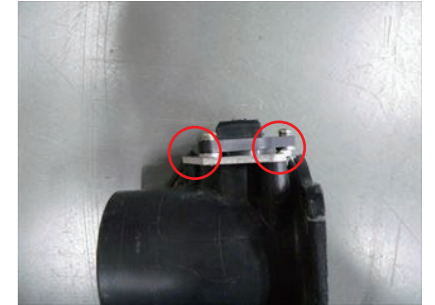
6. エアークリーナーカバーからエアフローセンサーを取外します。



7. エアークリーナーケースからゴムブッシュを3か所取外します。



8. ビスDx2を使用して、エアフローアダプターに変換プレートを取付けます。



9. エアフローアダプターにワッシャーx2を挟みビスCx2でエアフローセンサーを取付けます。



10. ファンネルアダプターにエアフィルターを取付けバンドで締め付けます。



11. カーボンケースにビス Bx1 を使用してステアを取付けます。ステアの向きは写真を参考にしてください。



12. カーボンケースとステアに取外したゴムブッシュを取付けます。



13. ジョイントアダプターをカーボンケースの中に入れビス Ax4 で外から取付けます。



14. エアフィルター ASSY とエアフローアダプターをビス Bx4 で固定します。



15. カーボンケースを車両に取り付けます。エアホースをエアフローアダプターに刺し、バンドを締め付けます。ゴムブッシュが奥まで刺さっていることを確認してください。



ゴムキャップを差し込んだ後ビス E でゴムキャップを固定します。(ゴムキャップには穴が開いていないのでビス E をねじ込んでください。)

16. フレッシュエアダクトにゴムスペーサーとゴムキャップを取り付けます。



17. フレッシュエアダクトのゴムスペーサーを取り付けた場所をジョイントアダプターに刺し込む様に配置します。純正ボルトでフレッシュエアダクトを固定します。



18. エアフローセンサーコネクタとエアフローセンサーの配線留めを取付けます。各部増し締めを行い作業完了です。